

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Passoくらぶ		
○保護者評価実施期間	令和8年2月20日		～ 令和8年3月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 33
○従業者評価実施期間	令和8年3月24日		～ 令和年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案をチームで行っている。また、活動プログラムが固定化しないように工夫をしている。	毎月、利用者のニーズや課題を踏まえ、職員間で意見交換を行いながらカリキュラム内容の検討を行っています。次月の日ごとのカリキュラム内容を予約表に記載し、利用者および保護者へ案内しています。また、当日の利用予定者の状況に応じて、活動内容や進め方を工夫して実施しています。	利用者が様々な経験を通して能力の向上や心身の成長につながるよう、カリキュラムの見直しを行い、利用者および保護者への周知を継続していきます。特に、ソーシャルスキルの育成をはじめ、認知機能の向上や人間関係・コミュニケーション力の向上に重点を置いた支援に取り組んでいきます。
2	支援開始前に打ち合わせを行い支援内容の確認や役割分担の確認を行っている。支援終了後に行った支援の振り返りを行い気付いた点等を共有している。	職員間で打ち合わせを行い、当日のスケジュール確認や支援の中で気付いた点について話し合い、情報共有を行っています。職員の出勤日や勤務時間に合わせて、口頭での共有や支援記録を活用しながら、情報が行き渡るよう工夫しています。	今後も職員間での打ち合わせを継続し、情報共有を行いながら、一人ひとりの利用者の状況やニーズに応じた支援につなげていきます。あわせて、共有した内容を実際の支援に活かせるよう、支援技法に焦点を当てた職員研修の実施に努めていきます。
3	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	毎月、予約表を通して活動や行事の予定を利用者および保護者へお知らせしています。また、会報として「Passoくらぶ便り」を発行し、活動時の様子をお伝えしています。随時の連絡事項については、LINEを活用し、保護者との連絡体制を整えています。	利用者および保護者のニーズに合わせて事業所の通所を活用していただけるよう、予約表の記載方法について定期的に見直しを行っています。また、「Passoくらぶ便り」のデザインや掲載内容についても工夫を継続し、事業所全体の取り組みを利用者および保護者へ分かりやすく周知していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	外出イベントを通じた活動や地元のお祭等の行事に参加しているが、放課後児童クラブや児童館との交流、障がいのない子どもと一緒に活動する機会が持てていない。	事業所の利用者に中学生以上が多い中で、同年代の子ども同士が参加できる活動内容や活動場所、関係機関との連携に関する情報の把握が十分でないことが要因と考えられます。	障害児相談支援事業所と連携し、地域のインクルージョンの取り組みについて把握するとともに、継続して情報収集を行っています。あわせて、これまで開催してきた外部講師によるセミナー等に加え、事業所独自の交流イベントの企画についても検討していきます。
2	医療的ケアが必要な子どもを受け入れや、子どもの主治医等との連絡体制を整える機会が持てていない。	進学や就労等の移行支援に向けた本人支援に重点を置いて取り組んでいます。なお、現在のところ医療的ケアが必要な利用者の在籍はありません。	事業所内で医療的ケアを必要とする利用者の在籍はありませんが、通院している利用者については、安心して安定的に通所できるよう、体調管理の観点から保護者や通院先医療機関等と連携し、連絡体制の整備を進めていきます。
3	事業所による自己評価と保護者・従業員からの評価、法人による運営状況の確認を行っているが第三者による外部評価の導入には至っていない。	各種行政の通知に基づく書類整備、利用者に必要な支援を提供する体制整備、運営に必要な研修・委員会運営の整備から順次取り組んでいる状況です。	事業所による自己評価、保護者および従業員からの評価、法人による運営状況の確認を継続して行う中で、さらなる質の向上を目指し、第三者による外部評価の導入について検討していきます。